樹脂管バイス２５０　取扱説明書

■はじめに

①この取扱説明書は樹脂管バイス２５０の基本的な操作と安全な取扱い方法が記載してあります。

品　　名	品　　番
樹脂管バイス２５０	ＪＰＶ－２５０

②この取扱説明書では、もしお守りいただかないと大きな事故が発生する恐れのある注意事項は「警告」という見出しの下に記載されています。また、もしお守りいただかないと工具の破損とともに事故を誘発する恐れのある注意事項は「注意」という見出しの下に記載されています。

③ご使用にあたってはこの取扱説明書をよく読み、十分理解したうえで正しく作業を行ってください。
この取扱説明書に示されている操作方法及び安全に関する注意事項は、樹脂管バイス２５０を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。
この取扱説明書に書かれている以外の使用方法は絶対しないでください。

④この取扱説明書は、実際に作業をされる方がいつも手元においてご使用ください。

■使用目的

①主としてポリエチレン管・ポリブテン管・塩化ビニル管等の切断・スクレープ・面取り時等に、管を拘束するための工具です。

■仕様

①使用対象管

ポリエチレン管・ポリブテン管・塩化ビニル管等、樹脂製の管

②拘束能力

樹脂管	呼び　３００（ＪＩＳ）外径φ３１８mmまで 呼び　２５０（ＩＳＯ）外径φ３１５mmまで

注：この商品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■安全上のご注意

⚠警告

①この取扱説明書に記載された使用目的・仕様の範囲で使用してください。指定している対象管以外の鋼管などにご使用になりますと、十分な拘束力が得られず重大な事故に結びつくことがありますので、樹脂管以外には絶対に使用しないでください。

②バイスはご使用の前に必ず作業台・専用三脚・作業車などに確実に固定してください。バイスが確実に固定されていないままご使用になりますと重大な事故に結びつくことがあります。

⚠注意

①チェン締付ノブは約１５kg（トルク＝４０～５０kgｆ・cm）で締め付ければ、管の拘束に十分な力が得られます。過大なトルクを加えるとパイプが変形したり工具が破損し、けがをする恐れがありますので過大なトルクを加えないようにしてください。

②バイスのチェンを延長するなど、改造は絶対にしないでください。工具が破損するばかりか、事故の原因となる恐れがあります。

③バイスの各部は常に点検を行い、損傷のある状態では使用しないでください。

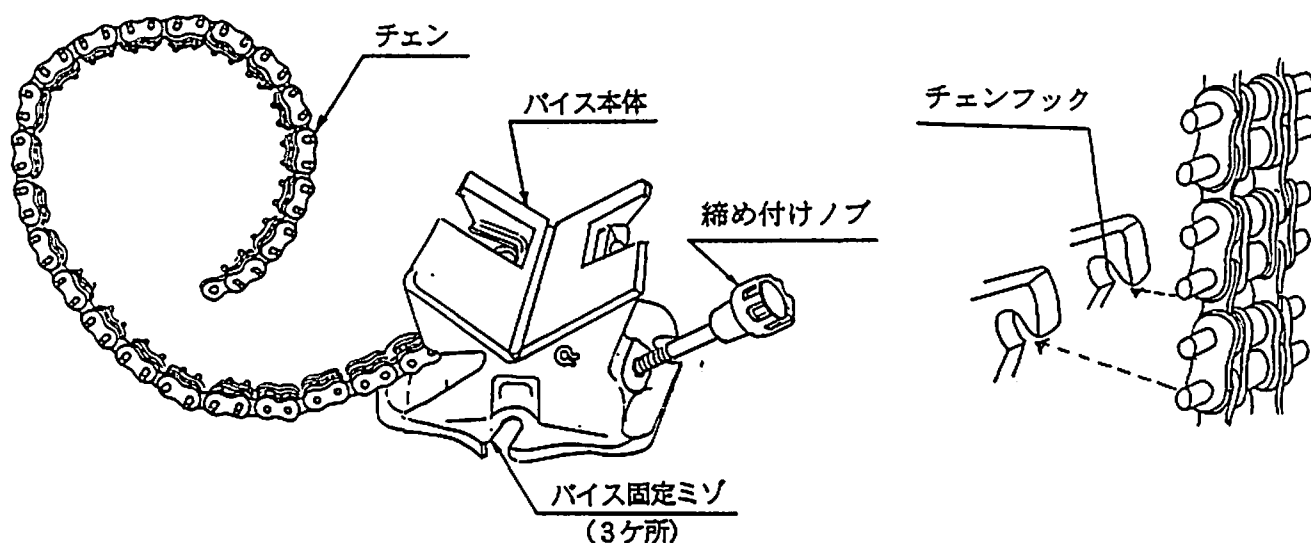
■作業の前に

①バイスは作業を開始する前に、必ず、作業台または専用三脚、作業車などに確実に固定してください。
＊取り付けは付属の六角ボルト（Ｍ１２×６０）・六角ナット（Ｍ１２）・平座金（呼１２）を使用してください。

②日常の点検・メンテナンス

1) バイス本体各部に損傷はないか、ボルト・ナットが緩んでないか、またチェン及びチェン取り付けピンが外れたり、損傷していないかを点検し、ボルト・ナットが緩んでいれば、増し締めを行ってください。

2) 点検の結果、各部の損傷などが見つかった場合は、品名・サイズ・異常のある個所などを明確にして、お買い求めの販売店または裏面の連絡先まで修理をご依頼ください。

■各部の名称

■操作方法

樹脂管バイスの操作は必ず締め付けノブ・チェンフックの側から操作してください。

①操作手順

1)締め付けノブを左へ回し緩めてください。(図1)
　＊締め付けノブはいっぱいまで完全に戻しておいてください。

2)チェンを前方へ広げ、伸ばしてください。(図1)

3)拘束しようとするパイプをバイスのパイプ受け部(V字型)へ載せてください。(図2)

4)チェンがたわまないように注意しながらパイプに廻し、チェンフックに引っ掛けてください。(図3)

5)チェンがチェンフックから外れないように、軽く手を添えながら締め付けノブを右に回し、締め付けてください。(図4)
　＊締め付け力の目安は約15kg程度(少し力を入れる程度)です。

注:最適な締め付け力はパイプの種類(肉厚・サイズ)・長さ・温度などの条件により変えることが必要です。パイプの状態を確認しながら締め付けてください。

図1　図2　図3　図4